

小雀町殿谷ツ遺跡／田谷町相ノ田谷遺跡

横浜市戸塚区 No.193 遺跡 / 横浜市栄区 No.111 遺跡



1. 小雀町殿谷ツ遺跡 下段部近世面遺構全景



2. 小雀町殿谷ツ遺跡 上段部近世面遺構全景



3. 田谷町相ノ田谷遺跡 北西区かわらけ出土状況



4. 田谷町相ノ田谷遺跡 北西区竪穴状遺構遺物出土状況

●主な調査成果

小雀町殿谷ツ遺跡と田谷町相ノ田谷遺跡の主な調査成果を紹介します。小雀町殿谷ツ遺跡では近世の段切り・溝状遺構・土坑が発見され、陶磁器や銭貨等が出土しました。これらの遺構と遺物から東海道の街道沿いに通じる場所で生活した当時の人々の生活の一端を知ることができました。

田谷町相ノ田谷遺跡では中世の溝状遺構・畝状遺構・竪穴状遺構・土坑が発見され、陶磁器や木製品等が出土しました。畝状遺構や貯蔵穴と推定される土坑等から遺跡が耕作地として利用されていたと考えられます。また半地下式に掘られた竪穴状遺構から発見された木製弓から当時の社会を担った人々の活動の一端がうかがえました。

- 調査期間 2019年10月1日～2020年3月13日/
2016年4月1日～2017年6月30日・2019年8月1日～2019年9月30日
- 事業者 国土交通省関東地方整備局
- 調査原因 高速横浜環状南線建設事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査
- 時代 近世、中世、奈良・平安、縄文/近世、中世、奈良・平安、古墳、弥生、縄文
- 所在地 横浜市戸塚区小雀町／横浜市栄区田谷町
- 遺跡位置 JR・横浜市営地下鉄戸塚駅の南西約3.0kmの多摩丘陵上/
JR・横浜市営地下鉄戸塚駅の南西約3.6kmの多摩丘陵上

